

不適合情報

2022年7月27日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	原子炉補機冷却系熱交換器(B)の点検において、伝熱管(2本)に管理値を超える減肉を確認した。閉止栓にて当該配管を閉止。なお、閉止した伝熱管の本数は管理値(146本)未満であり、除熱性能に問題なし。	2022/07/20	
2	3号機	直流250V蓄電池の定例点検において、No. 15セルが電解液比重管理値を逸脱していることを確認した。なお、単電池電圧は管理値内のため、機能に影響なし。	2022/07/21	
3	4号機	タービン建屋2階(管理区域)排気処理装置エリアの天井に雨漏れおよび床面に水溜まり(約80cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。当該箇所を点検・修理。	2022/07/22	
4	4号機	中央制御室において、タービン系制御装置2系異常(蒸気関係)の警報の発生を確認した。調査の結果、2系内にある基板間の伝送不具合と推定。当該伝送基板を交換。なお、プラント停止中にもなう系統停止中のため、制御に影響なし。	2022/07/23	
5	6号機	非常用ディーゼル発電機(A)の検証試験において、空気圧縮機(A-1、A-2)が自動起動したところ、空気圧縮機(A-1)の安全弁が動作したことを確認した。空気圧縮機(A-1、A-2)を停止。当該安全弁を点検・修理。なお、他の非常用ディーゼル発電機(2台)が待機状態であるため、保安規定にもとづく機能要求に問題なし。	2022/07/22	
6	6号機	サービス建屋入退域管理所の管理区域入退域装置(1台)の通行方向を退域から入域に切り替えたところ、操作画面がフリーズして操作できなくなったことを確認した。また、作業員が入退域装置を通過する時に誤って接触した際の衝撃により、サービス建屋の入退域装置(3台)、固体廃棄物処理建屋の入退域装置(1台)で警報が発生し、操作できなくなったことを確認した。入退域装置が使用できない間の入退域記録を記帳管理で実施。メーカーにて原因調査を行い、制御プログラムを改修。記帳管理した作業員の線量を管理システムに登録。	2022/07/23	